

# 京都府丹後活動プランの概要

<p><b>構</b> <b>成</b></p>	<p>丹後活動プランの推進に向けて  <b>第1 丹後とは</b>  <b>第2 活動方策</b>  <b>第3 丹後の明日に向けて</b></p>
<p><b>丹後活動プランの推進に向けて</b></p>	<p>丹後のもっているものを伸ばし、広げ、新たな視点を加え、これを通して「持てるものを誰もが生かせる「丹後は今日も活動している」という、主体的な地域づくりを提案するもの（プランの射程は当面3～5年程度の期間）          京都府全域を対象とする「新京都府総合計画」及び「<sup>にんげん</sup>人・間中心」の京都づくり5つのビジョン（仮称）（京都府中期ビジョン）」は、このプランのベースであり、三者が一体となって丹後の発展を推進。</p>
<p><b>第1 丹後とは</b></p>	<p><b>（地理・自然的条件等）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口：約11.7万人 面積：約840km<sup>2</sup></li> <li>京丹後市網野町を境に東側は若狭国定公園、西側は山陰海岸国立公園に指定</li> <li>平野部は大手川、野田川等の流域や海岸沿いに分布</li> <li>冬季には平野部でも50cm、山間部では1mを越す積雪</li> </ul> <p><b>（歴史）</b>・「丹後王国」の存在説が伝えるように、「大和朝廷」に比肩する独自の繁栄を遂げていたと見られ、江戸時代以降は丹後ちりめんや北前船等の廻船業などが地域の牽引力となった。</p> <p><b>（産業）</b>・主な産業は農林水産業、織物業、機械金属業、観光業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四季を通じて多くの魚介類が水揚げされるが、「間人ガニ」は有数の高級ブランド</li> <li>久美浜湾ではカキの養殖、栗田湾・宮津湾ではトリガイやワカギなど新たな養殖の試み</li> <li>和装需要の減少傾向はあるものの、「丹後ちりめん」をはじめとする絹織物の産地としては全国一の規模</li> <li>かつて織物にも関係していた機械金属業は、自動車やIT関連の部品生産にシフトし、地域を支える重要な産業</li> <li>「天橋立」をはじめとする景勝地、伊根の舟屋など多くの観光資源に恵まれ、夏は海水浴、冬は「かに」を求めて、丹後全体で年間約630万人の観光入込客がある。</li> </ul>
<p><b>第2 活動方策</b></p>	<p><b>1 観光・レクリエーション分野</b></p> <p>変化に富んだ美しい自然や古代から現代に続く人々の様々な営みなど、丹後がその魅力を発揮して多くの人たちとの楽しく豊かなかわりを発展させていくことを目指し、社会の動向を頭に入れて丹後の可能性を広く点検し、開いていくことが必要。</p> <p><b>1 丹後の新たな魅力を引き出していく</b></p> <p>砂嘴、断崖など美しく興味深い自然を有する半島          自然のダイナミズムを感じさせる冬の厳しい海と温泉・豊かな食物との対比          「海の駅」や海の道などによる交流拡大          日本の原風景的魅力を持つ山里、清流          様々なテーマによる歴史・文化の楽しみや追体験          農と食、織物等生産面の魅力          温泉と海と森林の結びつきによるリフレッシュエリア          自然共生・循環型社会システムの体験、学習          ランドマーク天橋立と西の入口久美浜</p> <p><b>2 魅力を開花させる基盤を整えていく</b></p> <p>観光戦略の基本の点検 中核となる活動体の形成とエキスパートの育成          基盤施設の整備と活用 効果的な情報提供・キャンペーン          観光エリアとしての質的向上と魅力ある地域社会の形成</p> <p><b>2 農林水産業分野</b></p> <p>自然とのつながりの中にある農山漁村の生活の場・生産の場としての機能を整え、環境と安全を重視し、地域資源を生かす生産を広げ、流通を多様化していくことが必要。</p> <p><b>1 自然とのつながりを基礎に生産活動と地域を支えていく</b></p> <p>地域としての一体的な活動の推進 NPO等の参加拡大          生産の組織化、経営能力の向上 自然共生・循環型社会の基礎づくり</p>

	<p><b>2 新たな生産・販売チャンネルを開拓していく</b>  安心・安全、地域循環型の生産・消費  エコファーマー等の努力が評価される価格形成  高齢者による生産への工夫  新たな流通チャンネルの拡充  地域材流通システムの整備と林産物の生産・販売の拡大  磯根資源の多角的利用、養殖の推進と流通チャンネルの多様化  丹後あじわいの郷の機能向上と海業等との連携</p> <p><b>3 担い手・後継者を育てていく</b>  中核的担い手の活動力の拡充                      次代の担い手の育成  新たな農林水産業参入者等への機会を開く                      生きた知識・技術を学ぶ仕組みをつくる</p> <p><b>3 織物、機械金属業等地域産業分野</b>  中核となる織物業と機械金属業の可能性を伸ばすとともに、地域の資源から新たな産業の芽を引き出し、また生活の質を高めるものとサービスの流通を円滑にしていけることが必要。</p> <p><b>1 丹後ちりめんを中心とする織物産地としての可能性を追求していく</b>  品質の維持、新素材を生み出す工夫                      生活や世代に応じた和装の追求と観光への活用  海外にも視野を向けた事業展開の推進                      企画・デザイン力の強化</p> <p><b>2 機械金属業の高いポテンシャルを生かしていく</b>  技術者・技能者の確保                      技術・技能の向上と新たな事業活動の拡充  インフラ整備の推進</p> <p><b>3 新たな産業の構図を作っていく</b>  新産業の開拓                      地域条件を生かした商業機能の展開</p> <p><b>4 生活・地域づくり分野</b>  現代社会の中にあって、人口の流出と高齢化に対し、地域の在り方を点検して、新たな仕組みや活動を広げ、また安心・安全を確かなものにしていくことが必要。</p> <p><b>1 生活の基礎を固めていく</b>  子どもや家庭に関わる新たな課題への取組  高齢者が主体となる地域の活動力の再構成  地域での活動を広げていく条件整備</p> <p><b>2 丹後の文化や自然を生かし、新たな活動を拓く地域づくりを進めていく</b>  地域文化の継承と交流の推進  青少年の地域理解と活動の拡大  空<sup>ス</sup>や丹後の<sup>ダイ</sup>ミックで変化に富んだ美しい自然を生かした文化・創作活動の展開  循環型社会や自然との共生を基礎とする地域づくり</p> <p><b>3 安心・安全の基礎をつくっていく</b>  災害復旧の早期完了と防災施設の整備                      防災体制の強化                      保健・医療体制の充実</p> <p><b>5 各分野を支える基礎条件</b>  地域内外の交流を活発にする道路やIT等の基盤の整備と、各地で人と活動を結ぶ組織の確立及びそのネットワークが基礎条件</p> <p><b>1 地域内外の交流を支え、活発にする基盤の整備</b>  ・ 京都縦貫自動車道、鳥取豊岡宮津自動車道等幹線道路及び生活道路の整備  ・ 自然の保全・再生  ・ 北近畿タンゴ鉄道、路線バスや公共バスの活用による交通手段の確保  ・ ブロードバンドの拡充及び情報活用技術の普及・高度化</p> <p><b>2 地域の活動組織の確立とネットワークの拡充</b>  ・ 地域の生活を支える目的を明確にした機能的な活動組織、産業や福祉、文化等様々な分野における個人やグループの力を結集するNPO等の組織の確立と連携の拡充</p>
<p><b>第3 丹後の明日に向けて</b></p>	<p>地域の活動方針は直ちに着手できるものもあり、また当面は議論のたたき台となるものもある。それらが丹後を巡り、各地で、各分野で新しい芽を出し、伸びていくのは、丹後の中に人々の活発な交流があり、各地に分散する知恵と経験と情報がつながれ、活動力が結び合わされ、また域外の人々との交流が広がり、新たな工夫と機会が加えられる時である。</p>